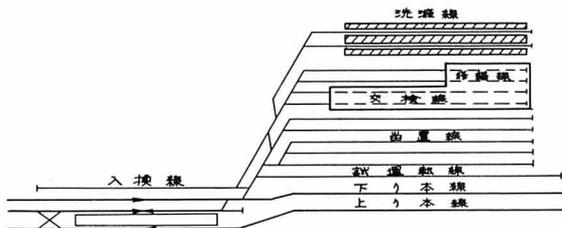


(1) 出入区線 本線あるいは駅の側線と電車区線を結ぶもので、原則として出入線を分け2線とする。

(2) 収容線・組替線 予備の電車や、運用中のものでも、所定の運転を終えると大部分は電車区に帰って滞泊する。この滞泊車のうち、交番検査線および洗じょう線に入れるもののほかを滞留させる線である。この線群にある程度の余裕をもたせて編成の組替えに使用する。

(3) 入換線 車両または車両列を収容線、検査線、修繕線

図-3 電車区配線



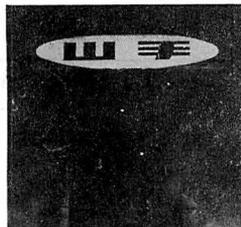
および洗じょう線相互に転線させる場合、一時引上げるのに必要である。引上げ線ともいう。有効長は最大編成長に約60mの余裕をもたせる。この余裕長は故障車列を他の車列で引上げる場合のためである。

(4) 試運転線 車両検査後の試運転に使用するもので500m以上が必要である。

5 電車区の配線

各線群の使用度合、入換の難易、地形その他の条件によって一定の様式をとることはできないが、一例を挙げると図-3のとおりである。(中山 隆)

てんしゃけいとうべつひょう 電車系統別標 電車の運転系統一東京に例をとれば山手線、京浜・東北線等一が一目で判るように電車に表示し旅客を案内するための標示である。



1. 電車系統別標(京浜・東北線) 2. 電車系統別標(山手線)

1 掲出場所 電車車側の内外の上部。

2 着色 白色に群青文字。ただし運転系統を区別するため、特殊の図案・色彩を用いることがある。(古池義雄)

てんしゃけんさがかり 電車検査掛 電車区におかれる職で、区長の指揮をうけて電車掛、整備掛を指導して、電車の検査(仕業検査、特別仕業検査、交番検査、局部検査、臨時検査等)および注油を行うものである。必要ある場合は電車に乗務して、運転中の状態を検査しなければならない。

電車の検査には実際に、電車を運転した経歴のある人の知識経験を必要とする面があり、また他面、修繕と直結する面があるので、この職への採用は、運転関係の電車運転士からと、検修関係の電車掛からの2つのルートがある。(加藤誠次郎)

てんしゃこ 電車庫 (英)electric car shed 電車を収容し、検査または修繕をする設備を有し、これらの作業を行う建物。一般に修繕庫、交番検査・仕業検査庫にわけられ、必要に応じ収

容車庫、洗じょう車庫、融雪車庫が設けられる。これらは合同されて1むねとなっている例が多い。

1 修繕庫 運転キロ80,000km以内ごとに要部を解体して行く局部検査および50,000km以内

ごとに台車および主発電機をとりはずして行く局部検査を実施する機能をもった車庫。

2 交番検査庫・仕業検査庫 それぞれ8,000

km,800km以内ごとの運転キロのものに対するの検査を行う機能をもった車庫。

3 収容車庫 各種弁および気筒類が凍結して起動できない場合があるので、これを防止するため寒冷地では、早朝出庫電車を収容する車庫。

4 融雪車庫 局部検査および修繕のために入る電車の融雪作業をする目的のための車庫。

以上であって、修繕車庫には必要によってつぎの職場その他を付属させる。

機械職場、鍛冶職場、仕上職場、木工職場、塗工職場、充電室、発電機室、排塵室、ソーダ室、電動乾燥室、油処理室、空気圧縮機室、電気溶接器室、工具室等。(藤島 茂)

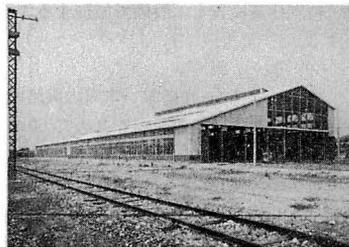
てんしゃじょうむいん 電車乗務員 電車に乗務して、それぞれ定められた職務を遂行するものの総称である。電車の運転を行うものとして、電車運転士、電車運転士見習、電車運転助手があり、運転を直接行わないものとしては、車掌、車掌見習、荷扱手がある。(加藤誠次郎)

てんしゃじょうむりょこうりょひ 電車乗務旅行旅費 電車乗務員(電車運転士・電車運転助手・電車運転士見習)が電車に乗務するための旅行に対して支給される旅費であって、動力車乗務員に対する*

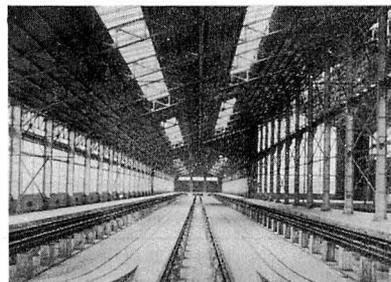
動力車乗務旅行旅費とまったく同じ方法によって支給される。(青木秀夫)

てんしゃせつきんけいじき

電車接近揭示器 電車をひん繁に運転する区間において、電車の接近状態をプラットフォームの乗客に明確に表示し知らせるもの。これはホームの乗客に見易い箇所に設置され、その制御方式を分類すると、電気信号用継電器を使用して



1. 高電電車庫(外観)



2. 高電電車庫(内部)

区分	日当1kmにつき
電車運転士	49銭
電車運転助手・電車運転士見習	44銭



電車接近揭示器